



山・海・街のリゾートが全て揃っているタイの魅力発信
タイ国政府観光庁 大阪事務所

8月23日、スワンナプーム国際空港とバンコク市内を結ぶ新交通システム「エアポート・レイルリンク」が開通し、市内の移動が便利になったタイ国（以下、タイ）。今回は、同じく8月にリニューアルオープンしたタイの観光情報拠点、タイ国政府観光庁 大阪事務所



約6割がリピーター

「今は日本人が抱いているタイのイメージを払拭していきたい」と語る井上さん。タイで起こった反政府デモの記憶が新しく、タイ＝怖い国というイメージが定着してしまうことを心配しているとのこと。タイを訪れる日本人旅行者は、リピーター率が高く、約6割の方がリピーターだそうです。中でも、2、3ヶ月ロングステイし、現地の方々との交流を楽しんでいらつしやる方も多いようです。また、ゴルフをする方にも人気の国とのこと、井上さん自身もタイで初めてゴルフをしてから、ゴルフの魅力にはまったと話してくれました。

医療が発達している国

実は、バンコクでは医療が発達しています。MRIやPET/CTなど日本でもまだ設置されていない検査機器が導入されている施設があり、日本からのメデイカルツアーも実施されているそうです。タイで検査して、その結果を持ち帰り、日本に戻り診察を受ける・・・そんな方が増えているとか。病院は病気を予防するために通うところではなく、未病（病気を予防する）という考え方に基づいて、最高の医療サービスを提供しているとのこと。院内にはスターバックスやマクドナルド、スパ施設などが揃っているところもあり、病院＝病気の人の施設という概念を変えつつあるようです。



バンコクからも近いサムットプラカーン県バンナムワン水上マーケット

井上さんお薦めのマーケット

タイで今井上さんがお薦めするマーケットを教えてくださいました。
スパンブリ県サムチュックマーケット

バンコクから約100キロ。100年以上の歴史を持ち、文化遺産の保護に努めているため、ノスタルジックな街並みや本場の味が楽しめます。

サムットプラカーン県バンナムブン水上マーケット

バンコクから約30キロ。自治体と地元住民が協力して、地元で生産された農作物やローカルフードが味わえます。運河沿いに住むモン族のライフスタイルを垣間見ることが出来るのも魅力です。

「タイは、五感で楽しんで欲しい」と井上さん。どこかノスタルジックな雰囲気の中にあるタイの本当の良さを感じてもらえると言います。今年、タイ国政府観光庁50周年を記念した「タイの見どころ50選」「タイループフオートコンテスト」(2011年3月18日まで)など様々なプロモーションも実施中。この機会にタイ国政府観光庁 大阪事務所やホームページで新しくなったタイの情報をチェックし、連休や冬休みの計画を立てられてはいかがでしょうか。



「ゴルフファーズ・パラダイス」

とも呼ばれるタイ

タイ国政府観光庁 大阪事務所

大阪市西区北堀江1の6の8 テクノープル四ツ橋ビル2階

TEL 06・6543・6654

営業時間 9時～17時(12時～13時 休憩)

休日 土・日・祝祭日

www.thailandtravel.or.jp

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞